

昭和44年度水稻作関係除草剤 試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会

当協会委託の昭和44年度水稻作用新除草剤の試験成績検討会が、昭和44年12月9日～11日の3日間、東京において開催されたので、ここにその結果の概要について紹介する。

1) 供試除草剤の動向

今年度供試された薬剤は、普通移植栽培本田用117剤、機械移植(稚苗)用10剤、苗代用9剤、湛水直播用4剤、乾田直播用5剤、合計145薬剤であった。

次に、今年度の試験から注目される点をあげてみると、除草剤合成改良面からは混合剤化が目立ち、新規薬剤については半数以上が混合剤であった。この混合剤も従前の土壌処理剤と雑草処理剤との組み合わせから、土壌処理剤間の混合剤化が著しい傾向がみられる。

一方、利用場面、作用特性の面からは、①処理適期幅が広い、②雑草種類間の選択殺草性が小さく、一年生雑草と多年生雑草の同時防除、

③殺草効果の持続性が長い、④他目的農薬の近接散布が可能、などの点に適する除草剤の開発が盛んであることが注目される。

また、植代前土壌混和处理剤が省力化とともに効力の持続性・安定化の点で注目され、有効な除草剤も出現した。

2) 試験結果の概要

今年度試験に供試された除草剤の成分を示すと、表1表の通りである。

それらの中で、除草効果・薬害などの点から有望であることが認められて実用化に移されたものは、普通移植本田用45薬剤、機械移植用(稚苗)7薬剤、苗代用3薬剤、乾田直播用3薬剤の合計58薬剤となっている。

適用性試験の判定結果を表2表に示した。

また、実用化の認められた除草剤の使用基準については表3表に示した通りである。

国産化されるバイエル農薬

いもち病・穂枯れ・紋枯病・小粒菌核病に

ヒノザン

アオムシ・ヨトウムシ・アメリカシロヒトリなどに

ディプテックス

説明書進呈



日本特殊農薬製造株式会社
東京都中央区日本橋室町2の8

世界にのびる

バイエル農薬

＜第1表＞ 昭和44年度水稻作関係供試除草剤成分一覧表

I 移植本田

No.	除 草 剤 名	剤 型	有 効 成 分 名 お よ び 含 有 率	取 扱 会 社
1	H O K - 7 5 0 1	粒	2-メチル-4-クロルフェノキシチオ酢酸S -エチルエステル 1,4%	北 興 化 学 工 業
2	H O K - 7 5 0 2	粒	PH40-21+HOK-7501 6,3+1,4%	同 上
3	H O K - 7 5 0 3	粒	PCP+HOK-7501 17+0,7%	同 上
4	H O K - 7 5 0 5 A	粒	シメトリン+HOK-7501 2,5+0,7%	同 上
5	H O K - 7 5 0 5 B	粒	同 上 1,5+0,7%	同 上
6	M H - 1 0 0	粒	CNP+HOK-7501 9+0,7%	同 上
7	T S H 5 0 5 ・ P C P	粒	2-メチルフェノキシエタノール+PCP-Na 5+20%	東 洋 曹 達 工 業
8	S - 4 1 5 2	乳	2,4-ジクロルフェノキシアクリル酸エチルエ ステル 20%	住 友 化 学 工 業
9	S-4152・MCP粒A	粒	S-4152+MCP 7+0,8%	同 上
10	同 上 粒 B	粒	同 上 10+0,8%	同 上
11	T H W - 4 5 (ウ ィ ー デ ス ト)	粒	PCP-Na+2,4,5-TPB 19,6+1,45%	ウ ィ ー デ ス ト 普 及 会 (クミアイ・保土谷)
12	M C P - C a	粒	MCP・Ca (原体)	日 本 カ ー バ イ ド 工 業
13	(寒地用, 暖地用) PCP-Ca・MCP-Ca (ベアサイド)	粒	PCP・Ca+MCP・Ca 寒30+0,8% { 暖30+1,0%	ベアサイド普及会 (武田薬品工業, 中外製 薬, 八洲化学工業, 日本カ ーバイド工業(事務局))
14	寒地用 P C P ・ M C P E (パ ー ロ ッ ク K)	粒	PCP+MCPE 20+0,6%	武 田 薬 品 工 業
15	暖地用 P C P ・ M C P E (パ ー ロ ッ ク D)	粒	同 上 17+0,8%	同 上
16	PCP・MCP・DCBN (トリサイド)	粒	PCP-Ca+MCP-Na+DCBN 30+0,75+0,75%	日 本 カ ー バ イ ド 工 業
17	D M P - A	粒	DBN+MCPE+PCP-Na 1,2+0,8+16,4%	兼 商

No	除 草 剤 名	剤 型	有 効 成 分 名 お よ び 含 有 率	取 扱 会 社
18	S K - 4 3 2	乳	DCPA+CMF 30+7%	{ 三 洋 貿 易 日 本 化 薬
19	SD-11831-H	粒	SD-11831+HOK-7501 2,5+0,7%	{ シエル化学 北 興 化 学
20	M K - 6 8 9 3	水和	酸アミド系 50%	三 菱 化 成 工 業
21	M K - 6 8 9 3 A	粒	MK-6893+シメトリン+2,4,5TP 2,5+1,5+1,5%	同 上
22	M K - 6 8 9 3 B	粒	MK-6893+HW-40187+2,4,5-TP 2+10+1%	同 上
23	M K - 6 8 9 3 C	粒	MK-6893+MCC+2,4,5-TP 2,5+10+1%	同 上
24	M K - 6 8 9 3 D	粒	MK-6893+MCC+2,4,5-TP 5+10+1%	同 上
25	M K - 6 8 9 3 E	粒	MK-6893+ピリダジン+2,4,5-TP 2,5+1,5+1%	同 上
26	H - 4 1 L	乳	α -N-エチル-2-(フェニルオルホニルオ キシ)プロピオンアミド 20%	協 和 酸 酵 工 業
27	トリフルラリン A	粒	トリフルラリン 3,0%	塩 野 義 製 薬
28	S L T - 6 8 1	粒	トリフルラリン+MCPアニリド 1,3+1,3%	石 原 産 業
29	S S H - 2 3	粒	トリフルラリン+MCPエチル 1,4+0,7%	塩 野 義 製 薬
30	G H - 1 1 9	水和	3,5-ジニトロ-N,N-ジプロピルサルファニルアミド 75%	クミアイ化学工業,日産化 学工業,イライリ- LC
31	GH-119・MCP粒A	粒	GH-119+MCPエチル 1,0+0,7%	日産化学工業,イライリ-
32	GH-119・MCP粒B	粒	GH-119+MCPエチル 1,5+0,7%	同 上
33	MCC・MCP粒20	粒	MCC+MCPエチルエステル 20+0,7%	S W E P 研 究 会 (日産化学工業, 日本農薬)
34	MCC・MCP・BHC	粒	MCC+MCPエチルエステル+BHC 20+0,7+6%	日 産 化 学 工 業
35	MCC・シメトリン	粒	KCC+シメトリン 10+2%	S W E P 研 究 会 (日産化学工業, 日本農薬)
36	MCC・G-315	粒	MCC+G315 10+1,5%	日 産 化 学 工 業
37	TDW・シメトリン	肥料	TDW-39+シメトリン+N+P ₂ O ₃ +K ₂ O 3号2+0,2+16+16+16% 4号2,5+0,25+16+16+16%	クミアイ化学工業 日 本 化 薬 三 菱 化 成 工 業

No.	除 草 剤 名	剤 型	有 効 成 分 名 お よ び 含 有 率	取 扱 会 社
38	B - 3 0 1 5	乳	S-(4-クロルベンジル)N,N-ジエチル チオールカーバメイト 50%	クミアイ化学工業
39	B - 3 0 1 5	粒	同 上 10%	同 上
40	B - 3 0 1 5 S	粒	B-3015+シメトリン 7+1,5%	同 上
41	B M - 3 0 1 5	粒	B-3015+CNP 7+6%	同 上
42	R - 8 8 2 7	乳	カーバメイト系 30%	同 上
43	B - 5 0 8 5	乳	カーバメイト系 50%	同 上
44	M B - 3 0 1 5	粒	B-3015+ジフェニルエーテル系 7+1%	同 上
45	T - 1 7 3	水和	S-メチル,N-(3-メチルフェニル) チオールカーバメイト 40%	石 原 産 業
46	S L P - 6 8 4	粒	T-173+アリルMCP 18+10%	同 上
47	F - 1 3 4 7	粒	2,5-ジクロルベンジルN,Nジメチルチオール カーバメイト 5%	同 上
48	S L F - 6 9 1	粒	F-1347+アリルMCP 5+0,8%	同 上
49	S L F - 6 9 2	粒	F-1347+MCPCA 5+2%	同 上
50	H W - 8 8	粒	2,5-ジメチルベンジル-N,Nジメチルジチ オカーバメイト 20%	保 土 谷 化 学 工 業
51	C - 1 5 6 8 4	粒	カーバメイト系化合物 10%	チ バ 製 品
52	C-15684・MCP	粒	C-15684+MCP 7,5+2,5%	同 上
53	C - 1 5 7 9 7	乳・粒	カーバメイト系化合物 乳40% 粒10%	同 上
54	C-15797・MCP	粒	C-15797+MCP 7,5+2,5%	同 上
55	C - 1 7 8 7 5	乳・粒	カーバメイト系 乳40% 粒10%	同 上
56	N H - 6 9 6 7 S	粒	2,4-ジクロルフェニルプロリジニルカーボキ シレート+シメトリン 5%+1,5%	日 本 農 薬
57	N H - 6 9 6 7 D	粒	NH-6967+NH-9438 5+1,7%	同 上
58	N T N - 6 2 8 5	粒	カーバメイト系 7%	日本特殊農薬製造
59	T S H - 6 2 8 5 A	粒	カーバメイト系 9%	同 上
60	T S H - 9 6 2	水和	カーバメイト系 40%	東 洋 曹 達 工 業
61	G-315粒(4%)	粒	2-ターシャリブチル-4-(2,4-ジクロル-5- イソプロビル-オキシフェニル)5-オキソ-1,3,4 オキサジアゾリン 4%	日 産 化 学 工 業

No	除 草 剤 名	剤 型	有 効 成 分 名 お よ び 含 有 率	取 扱 会 社
62	G-315粒(2%)	粒	2-ターシャリブチル-4-(2,4-ジクロル-5- イソプロピル-オキシフェニル)-5-オキソ-1,3,4- オキサジアゾリン	日 産 化 学 工 業
63	G-315	肥料	G-315+N+P ₂ O ₅ +K ₂ O 0.35+12.0+15.0+15.0%	同 上
64	Dowco 221 MCP	粒	α-2,2,2-トリクロルエチルスチレン+MC Pエチル 2,5+0,9%	ダウ・ケミカル
65	NH-9438	粒	- 2,5%	日 本 農 薬
66	NH-9438C	粒	NH-9438+カーバメイト系 1,7%+7,0%	同 上
67	C N P	粒	2,4,6-トリクロルフエニル-4'-ニトロフ エニルエーテル 7%	三井東圧化学
68	MO-9	粒	同 上 9%	同 上
69	MO-500	粒	2,4-ジクロル-6-フルオルフエニル-4' -ニトロフエニルエーテル 1,5%	同 上
70	MO-502 (ノングラス)	粒	MO-500+CNP+MCP酸 1+6+0,75%	同 上
71	C-6989-1	粒	C-6989+C-15684 1,8+7,2%	チバ製品
72	C-6989-2	粒	C-6989+C-15797 1,8+7,2%	同 上
73	C-6989-3	粒	C-6989+MCP 7,5+2,5%	同 上
74	HW-40187MA	粒	3,5-ジメチル-4'-ニトロジフエニルエ テル+MCPE 1,6+0,8%	保土谷化学工業
75	HW-40187C	粒	HW-40187+B-3015 7+7%	保土谷化学工業 クミアイ化学工業
76	NIP-Q改良C	粒	NIP+MCPベンジルトリエタノールアンモ ニウム塩 9+0,5%	東京有機化学
77	NH-8902	粒	2-クロル-4-ブロムフエニル-4'-ニト ロフエニルエーテル 7%	日 本 農 薬
78	KH-1908	粒	有機硫黄系 7%	呉羽化学
79	同 上	乳	同 上 25%	同 上
80	MT-101	水和	アニライド系 50%	三井東圧化学
81	MT-201	粒	CNP+MT-101 7+4%	同 上
82	MT-202	粒	CNP+MO-500+TO-10+TO-13 7+1+7+1%	同 上
83	CP-44939	粒	アセトトルイダイド系 1,0%	三菱モンサント化成
84	CP-53619粒2,5	粒	2-クロル-2,6'-ジメチル-N-メトキシ メチル-アセトアニリド 2,5%	同 上

No.	除 草 剤 名	剤 型	有 効 成 分 名 お よ び 含 有 率	取 扱 会 社
85	CP-53619粒5.0	粒	2-クロル-2,6'-ジメチル-N-メトキシ メチル-アセトアニリド 5.0%	三菱モンサント化成
86	HW-38C	乳	DCPA+B-3015 25+10%	保土谷化学工業
87	HW-38M	乳	アニリド系+他二種混合 31%	同 上
88	HW-T ₁	乳	アニリド系+他二種混合 31%	武田薬品工業 保土谷化学工業
89	NTN-5006	粒	有機リン系 5+7%	日本特殊農薬製造
90	NTN-5006A	粒	NTN-5006+フェノキシ系 5+1%	同 上
91	同 上 B	粒	NTN-5006+カーバメイト系 4+8%	同 上
92	バラコ-ト	液	1,1'-ジメチル-4,4'-ビピリジウムジクロ リド 24%	日 本 農 薬 武田薬品工業
93	クレダジン (SW-6701)	水和	3-(2-メチルフェノキシ)ピリダジン 50%	三 共
94	クレダジン・CNP粒7.7 (SW-6703)	粒	SW-6701+CNP 1.7+6.0%	三共・九州三共
95	クレダジン・シメトリン粒2.8 (SW-6907S)	粒	SW-6701+シメトリン 1.3+1.5%	同 上
96	同 上 3.5 (SW-6808S)	粒	同 上 1.5+2.0%	同 上
97	同 上 4.2 (SW-6809S・B)	粒	同 上 1.7+2.5%	三共・北海三共
98	同 上 4.5 (SW-6809S)	粒	同 上 2.0+2.5%	同 上
99	シメトリン粒1.5	粒	2-メチルチオ-4,6-ビス-エチルアミノ- S-トリアジン 1.5%	ギーボン普及会 (ガイギー他)
100	同 上 2.5	粒	同 上 2.5%	同 上
101	シメトリン・MCPB粒1.5	粒	シメトリン+MCPB 1.5+1.0%	日 本 化 薬
102	同 上 2.5	粒	同 上 2.5+1.0%	同 上
103	PH40-21	粒	4,5,7-トリクロルベンズチアジアゾール- 2,1,3 6.3%	北 興 化 学
104	P H D	粒	PH-40-21+CPH(2-メチル4-クロルフ ェノキシアセトヒドラジッド) 6.3+1.0%	北 興 化 学 工 業 大日本インキ化学工業
105	モリネ-ト M・A	粒	モリネ-ト+MCPエチル 6+0.8%	オルドラム研究会 (東洋棉花, 三笠化学 工業, 八洲化学工業)

No.	除 草 剤 名	剤 名	有 効 成 分 お よ び 含 有 率	取 扱 会 社
106	モ リ ネ ー ト M・B	粒	モリネート+MCPエチル 8,3+0,8%	オルドラム研究会
107	T S H - 7 3 6	乳	有機塩素系 20%	東 洋 曹 達 工 業
108	T S H - 8 6 2	乳	有機臭素系 20%	同 上
109	T H - 2 9 4 6 M	粒	TH-2946+MCPエチル 4+1%	武 田 薬 品 工 業
110	モ グ ト ン (ヒ ル ム シ ロ)	粒	2-アミノ-3-クロル-1',4'-ナフトキノ ン 9%	兼 商
111	M K - 6 8 0 1	水和	有機酸系 50%	三 菱 化 成 工 業
112	N P - 1 2	粒	- 15%	日 本 曹 達
113	N P - 1 3	粒	ジフェニルエーテル系 7%	同 上
114	N P - 1 6	粒	NP-13+MCPエチル 7+0,7%	同 上
115	N P - 1 5	粒	- 15%	同 上
116	Y K - 4 8 7 6	乳	- 20%	科 研 化 学 八 洲 化 学 工 業
117	H O K - 5 2 6	水和	- 40%	北 興 化 学 工 業

Ⅱ 機 械 移 植 - 稚 苗 -

No.	除 草 剤 名	剤 型	有 効 成 分 お よ び 含 有 率	取 扱 会 社
1	P C P - 2 5	粒	PCP 25%	P C P 協 議 会
2	モ リ ネ ー ト	粒	S-エチル・ヘキサハイドロ-1H-アジピン-1- カーボチオエート 5%	オルドラム研究会 (東洋棉花,三笠化学 工業,八洲化学工業)
3	M O - 9	粒	2,4,6-トリクロルフェニル-4'-ニトロフェニル エーテル 9%	三 井 東 圧 化 学
4	C - 6 9 8 9 (プ レ ホ ラ ン)	粒	2,4-ジニトロ-4'-トリフルロメチル-ジ フェニルエーテル 7%	チ バ 製 品
5	H E - 3 1 4 (T O P E)	乳	3-メチルフェニル4'-ニトロフェニルエー テル 25%	三 洋 貿 易
6	トリフルラリン A	粒	トリフルラリン 3,0%	塩 野 義 製 薬
7	MCC・MCP粒 20	粒	MCC+MCPエチル 20,0+0,7%	S W E P 研 究 会 (日産化学工業・ 日本農薬)
8	B - 3 0 1 5 S	粒	B-3015+シメトリン 7+1,5%	クミアイ化学工業
9	B M - 3 0 1 5	粒	B-3015+CNP 7+6%	同 上
10	H W - 8 8	粒	2,5-ジメチルベンジル-N,Nジメチルジチ オカーバメイト 20%	保 土 谷 化 学 工 業

Ⅲ 苗 代

	No.	除 草 剤 名	剤 型	有 効 成 分 名 お よ び 含 有 率	取 扱 会 社
(イ) 水 苗 代	1	モ リ ネ ー ト	粒	S-エチル・ヘキサヒドロ-1H-アジピン-1-カーボチオエート 5%	オールドラム研究会 (東洋棉花, 三笠化学工業, 八洲化学工業)
	2	H E - 3 1 4 (T O P E)	乳	3-メチルフェニル 4'-ニトロフェニルエーテル 25%	三 洋 貿 易
	3	B - 3 0 1 5	乳	S-(4-クロロベンジル)N,N-ジエチルチオールカーバメイト 50%	クミアイ化学工業
(ロ) 保 苗 代	1	モ リ ネ ー ト	粒	モリネート 5%	オールドラム研究会 (東洋棉花, 三笠化学工業, 八洲化学工業)
	2	B - 3 0 1 5	乳	R-3015 50%	クミアイ化学工業
(ハ) 水 苗 代	1	モ リ ネ ー ト	粒	モリネート 5%	オールドラム研究会 (東洋棉花, 三笠化学工業, 八洲化学工業)
	2	モ リ ネ ー ト	乳	同 上 40%	同 上
	3	B - 3 0 1 5	乳	B-3015 50%	クミアイ化学工業
	4	改 良 D C P A	乳	DCPA 10%	北 興 化 学 工 業

Ⅲ 湛 水 直 播

No.	除 草 剤 名	剤 型	有 効 成 分 名 お よ び 含 有 率	取 扱 会 社
1	モ リ ネ ー ト	粒	モリネート 40%	オールドラム研究会 (東洋棉花, 三笠化学工業, 八洲化学工業)
2	H W - 3 8 5 5	水 和	DCPA+DCTT 25+25%	保土谷化学工業
3	H W - 4 0 1 8 7 D	乳	DCPA+HW-40187+MCPE 25+10+12%	同 上
4	S - 4 5 8 6 5	乳	2,4-ジクロルフェノキシアクリル酸シクロヘキシルエステル 20%	住友化学工業

V 乾 田 直 播

No.	除 草 剤 名	剤 型	有 効 成 分 名 お よ び 含 有 率	取 扱 会 社
1	S A P ・ プロメトリン (エ ス)	乳	SAP+プロメトリン 50+5%	日 本 農 薬 東 洋 棉 花
2	M O - 5 0 0	乳	2,4-ジクロル-6-フルオルフェニル-4'-ニトロフェニルエーテル 25%	三井東洋化学
3	トリフルラリン	乳	トリフルラリン 44,5%	塩 野 義 製 薬
4	トリフルラリン B	粒	トリフルラリン 2,5%	同 上
5	H - 3 3 7	水 和	PCP+リニユロン 73,0+5,0%	丸 和 物 産

昭和44年度水稻作関係除草剤実用化判定表

	実 用 化	実 と 継	継 続	継 ？	中 止
(1) <					

	実 用 化	実 と 継	継 続	継 ？	中 止
普通移植・本田つづき		シメトリン・ MCPB粒1,5 シメトリン・ MCPB粒2,5 P H D 粒 モ ゲ ト ン 粒			
(2) 機械移植 ↓ 稚苗 ↓		モ リ ネ ー ト 粒 M O - 9 粒 C - 6 9 8 9 粒 H E - 3 1 4 乳 MCC・MCP粒20 B - 3 0 1 5 S 粒 B M - 3 0 1 5 粒	トリフルラリンA粒	P C P - 2 5 粒 H W - 8 8 粒	
(3) イ本魚代		H E - 3 1 4 乳	モ リ ネ ー ト 粒 B - 3 0 1 5 乳		
ロ裏苗代 保温折		モ リ ネ ー ト 粒 (表 層 処 理)	B - 3 0 1 5 乳		モ リ ネ ー ト 粒 (混 和 処 理)
ハ 畑 苗 代		B - 3 0 1 5 乳	モ リ ネ ー ト 粒 モ リ ネ ー ト 乳 改 良 D C P A 乳		
(4) 湛直水播			モ リ ネ ー ト 粒 S - 4 5 8 6 5 乳		
(5) 乾直田播	SAP・プロメトリン乳 H - 3 3 7 水和	M O - 5 0 0 乳	トリフルラリン乳 トリフルラリンB粒		

(その他作用特性の解明)

S-4152乳, MCP-Ca, MK-6893水和, H-41L乳, GH-119水和, B-3015乳, R-8827乳, B-5085乳, MB-3015粒, T-173水和, HW-88粒, C-15797乳・粒, C-17875乳・粒, NH-6967D粒, NTN-6285粒, NTN-6285A粒, TSH-962水和, NH-9438C粒, MO-500粒, KH-1908粒・乳, MT-101水和, MT-201粒, MT-202粒, CP-44939粒, HW-38C乳, HW-38M乳, HW-T1乳, NTN-5006粒, NTN-5006A粒, NTN-5006B粒, クレダジン水和, モリネートM・A(B粒), TSH-736粒, TSH862乳, MK-6801水和, YK-4876乳, HOK-526水和, HW-3855水和, HW-40187D乳, C-15684粒

昭和44年度水稻実用化除草剤使用基準一覧表

	除草剤名	処理法	処理時期	使用量 (製品g/a)	適用土壌 (減水深)	適用地帯	使用上の注意
普通 移植 栽培 本田	実地用PCP・Ca +MCP・Ca粒	土壌処理	移植後10～ 20日 (雑草発生始 期)	300	・壤土～埴土 (2cm/日以下) ・砂壤土 (1cm/日以下)	寒地	PAMに準ずる
	暖地用PCP・Ca +MCP・Ca粒	同上	移植後4～7 日(水稻活着 後)	300	壤土～埴土 (2cm/日以下)	北海道を除く 全域	同上
			第1回中耕後	300	砂壤土 (1cm/日以下)	全域	
	寒地用PCP・ MCPE粒	同上	第1回中耕後 又はそれに準 ずる時期	300～400	壤土～埴土 (2cm/日以下)	寒地・寒冷地の PAM地帯	同上
	暖地用PCP・ MCPE粒	同上	移植後4～6 日	300～400	同上	温暖地・暖地の 普通期	同上
	PCP・MCP・ DCBN粒	同上	移植後5～ 8日 第1回中耕 後	300	・沖積壤土～埴 土 (0.5cm/日 以下) ・腐植質火山灰 土 (4cm/日以下)	全域	PPに準ずる
	SK-432乳	雑草茎葉 処理 (畦畔)	雑草30cm前 後	200～250	全域	全域	稲体にかからぬよ うに散布する
	トリフルリン A	土壌処理	移植後4～7日	300～400	砂壤土～埴土 [減水深が特 に多くない 土壌]	普通期全域 [カヤツリグサ・ マツバイ多発 地帯は除く]	
	SLT-681粒	同上	①中耕後ない しはそれに 準ずる時期 (寒地・寒 冷地) ②移植後4～ 8日(温暖 地・暖地)	300～400	壤土～埴土 (2cm/日以下)	全域 (早期・普通期)	
	SSH-23粒	同上	移植後4～ 8日 中耕後	300～400	壤土～埴土 (3cm/日以下)	寒冷地の平坦部 および温暖地・ 暖地 (普通期・早期)	
	MCC・MCP粒 20	茎葉兼土 壌処理	移植後7～15 日 (ヒエ2～3 葉まで)	300	砂壤土～埴土 (2cm/日以下)	全域	・殺虫剤との混用は DCPAに準ずる ・高温時の散布につ いては注意する
	MCC・MCP・ BHC粒	同上	同上	300	同上	MCC・MCP 剤の使用時期とB HC散布が合致 する地域	同上

	除草剤名	処理法	使用時期	使用量 (製品g/a)	適用土壌 (減水深)	適用地帯	使用上の注意
(普通移植栽培本田一つつき)	C N P 粒	土壌処理	移植前3日～ 後6日	300～400	砂壤土～埴土 〔漏水の著しく 大きい水田は除く〕	全 域	
	M O - 9 粒	同 上	同 上	300～400	壤土～埴土 〔漏水の著しく 大きい水田は除く〕	全 域	
	M O - 5 0 2 粒	同 上	移植後5～ 10日 中耕後	300～400	同 上	普通期全域	ノビエ2葉期以前に 処理する
	N I P - Q 改良 C 粒	同 上	移植後7～10 日	400	壤土～埴土 (1cm/日以下)	寒 地	・処理後の深水や落 水をさける ・低温時の使用はさ ける
	クレダジン・ C N P 7.7 粒	同 上	移植後4～ 8日	300	壤土～埴土 (1.5cm/日以下)	普通期・早期栽 培地帯	
	シメリトン1.5粒	茎葉兼土 壌処理	移植後5～ 10日 (ノビエ2葉 まで)	300～400	砂壤土～埴土 〔極端な漏水 田を除く〕	温暖地南部(東 海)以西平坦地 の普通期地帯	・小苗・徒長苗の場 合は処理時の深水 はさける ・マツバイ多発田の 使用さける
	シメリトン2.5粒	同 上	移植後7～ 15日	300～400	同 上	全 域	同 上
	H O K - 7 5 0 1 粒	茎葉処理	分けつ中後期 ～幼穂形成期 前	300～400	砂壤土～埴土 〔漏水の大き くないとこ ろ〕	寒地を除く普通 期栽培地帯	M C P に準ずる
	H O K - 7 5 0 2 粒	土壌処理	移植後7～ 10日 (ノビエ2葉 まで)	300～400	・沖積壤土～ 埴土 (0.5cm/日 以下) ・洪積火山灰土 (4cm/日 以下)	寒地・寒冷地北 部を除く普通期 栽培地帯	・低温時および異常 高温時の使用はさ ける ・その他P P に準ず る
	H O K - 7 5 0 3 粒	同 上	移植後4～ 8日 寒冷地一第 1回中耕後	300～400	・沖積壤土～ 埴土 (2cm/日 以下) ・洪積火山灰土 (4cm/日 以下)	寒地除く普通期 栽培地帯	
	H O K - 7 5 0 5 A 粒	茎葉兼土 壌 処 理	移植後10 ～15日 (ノビエ1 ～2葉) 中耕後 (東北北部)	300～400	壤土～埴土 (2cm/日以下)	寒地・暖地を除 く普通期栽培地 帯	
	H O K - 7 5 0 5 B 粒	同 上	移植後10～ 15日 (ノビエ1～ 2葉)	300	同 上	暖地普通期栽培	・異常高温時の散布 には注意を要する ・健苗使用

	除草剤名	処理法	使用時期	使用量 (製品g/a)	適用土壌 (減水深)	適用地帯	使用上の注意
(普通移植栽培本田一つづき)	MH-100粒	土壌処理	移植後4～8日 (ノビエ1葉まで)	300	・沖積壤土～ 植土 (2cm/日以下) ・洪積火山灰土 (4～5cm/日以下)	温暖地～暖地の 普通期	CNP・MCPに準ずる
	S-4152・MCP粒A	同上	移植後5～10日 (ノビエ1～2葉)	300	壤土～植土 (2cm/日以下)	・寒冷地南部 (北陸)以西	
	THW-45粒	同上	第1回中耕後	300～400	同上	寒冷地	PAMに準ずる
	DMP-A粒	同上	移植後5～10日 第1回中耕後	300	壤土～植土 (0.5cm/日以下)	寒地	DMPに準ずる
	B-3015粒	茎葉兼土 壌処理	移植後4～10日 (ノビエ1.5葉まで)	300～400	砂壤土～植土 〔極端な漏水 田は除く〕	普通期全域	
	B-3015S粒	同上	移植後7～15日 (ノビエ2.5葉まで)	300～400	壤土～植土 〔極端な漏水 田は除く〕	普通期、早期 全 域	・異常高温が予想される条件下では使用をさける ・健苗使用
	BM-3015粒	同上	移植後4～10日 (ノビエ1.5葉まで)	300～400	砂壤土～植土 〔極端な漏水 田を除く〕	寒地除く 普通期、早期栽培地帯	深水散布をさける
	NH-6967 S粒	同上	移植後5～10日	300	壤土～植土 (1cm/日以下)	寒地除く全域	処理後の高温に注意する
	G-315粒	同上	移植後8～10日 (ノビエ1.5葉まで)	300	壤土～植土 〔極端な漏水 田はさける〕	普通期全域	・散布後深水にならぬように注意する ・異常高温時はさける
	G-315肥料	土壌混和 処理	植代時 (移植前2～3日)	300	砂壤土～植土	普通期全域	・移植後の深水をさける ・混和深2～3cm
	HW-40187 MA粒	土壌処理	移植後4～10日 (ノビエ2.0葉まで)	300～400	壤土～植土 (3cm/日以下)	寒地除く 普通期全域	CNP・MCPに準ずる
	HW-40187 C粒	茎葉兼土 壌処理	移植後6～12日 (ノビエ1～2葉)	300～400	壤土～植土 〔極端な漏水 田はさける〕	寒地除く全域	処理後の深水や落水をさける
	NH-8902 粒	土壌処理	移植後4～8日 (ノビエ1葉まで)	300	砂壤土～植土 (2cm/日以下)	暖地の普通期栽培地帯	・処理後の深水や落水をさける ・その他NIPに準ずる
	パラコート液	茎葉処理 (ミズガヤツ対象)	耕起前	30～40	全土壌	田植前にミズガヤツリが発生前になる一毛作田	・発生揃後散布 ・散布後5～6日経過して耕起・代かきをする

	除 草 剤 名	処 理 法	使 用 時 期	使 用 量 (製品g/a)	適 用 土 壌 (減水深)	適 用 地 帯	使用上の注意
(普通移植栽培本田一つつぎ)	クレダジン・シメトリン2.8粒	茎葉兼土壌処理	移植後5～10日	300	壤土～埴土(1.5cm/日以下)	普通期栽培地帯	・減水深の大きいところでは使用しない ・健苗使用
	クレダジン・シメトリン3.5粒	同 上	同 上	300	同 上	寒冷地南部(北陸)と温暖地以西の普通期栽培地帯	・暖地では早い時期に処理する ・健苗使用
	クレダジン・シメトリン4.2粒	同 上	寒冷地—移植後10～15日 寒 地—移植後5～10日	300	同 上	寒地・寒冷地	健苗使用
	クレダジン・シメトリン4.5粒	同 上	移植後10～15日 寒地—移植後5～10日	300	同 上	寒地・寒冷地	健苗使用
	シメトリン・MCPB粒	同 上	移植後5～13日(ノビエ2葉まで)	300	壤土～埴土(2cm/日以下)	温暖地・暖地の普通期栽培地帯	・小苗・軟弱苗の場合は処理時の深水をさける ・著しい高温時は使用しない
	シメトリン・MCPB 2.5粒	同 上	移植後7～15日	300～400 移植後10日までは300 同10日以降は400	同 上	寒冷地・温暖地	同 上
	P H D 粒	土壌処理	移植後4～10日	300	・沖積壤土～埴土(0.5cm/日以下) ・腐植質洪積火山灰土(4cm/日以下)	・寒冷地・温暖地の普通期栽培 ・暖地の早期栽培地帯	PPに準ずる
機械移植栽培(稚苗)	モグトン粒	茎葉処理(ヒルムシロ対象)	ヒルムシロ発生始～増殖始	300～400	壤土～埴土(0.5cm/日以下)	寒冷地の湿田	・再生した場合は反復散布する ・魚毒に注意
	モリノート粒	土壌処理	移植後～ノビエ2.0葉まで	500～600	砂壤土～埴土	寒冷地北部(東北)	ノビエ・マツバイ対象に初期除草剤として使用する
	MO-9粒	同 上	移植前3日～移植後5日 移植当日の移植前後処理を含む	300	同 上	寒地除く全域	深水での使用はさける
	C-6989粒	同 上	移植後2～4日(ノビエ発生始期まで)	300～400	同 上	・寒冷地および温暖地北部	・コナギ多発地はさける ・深水をさける

	除草剤名	処理法	使用時期	使用量 (製品g/a)	適用土壌 (減水深)	適用地帯	使用上の注意
(機械移植栽培(稚苗)―つづき―)	HE-314乳	湛水滴下 処理	田植同時～ ノビエ2葉	30～50	同上	寒地除く全域	湛水は適度に保持すること(3cm)
	MCC・MCP 20粒 (体系)	茎葉兼土 壌処理	①CNP又は NIP 移植前3日 ～後5日 ②MCC・ MCP 移植後25 ～30日	300	壤土～埴土 (3cm/日以下)	寒地、暖地(九州)を除く全域	・体系で使用する ・水稲6葉(ただし ノビエ2葉時)で 安全である
	B-3015S粒	同上	移植後8～ 15日 (ノビエ2.5 葉まで)	300	壤土～埴土 漏水の特に 大きくない 土壌	全 域	・水稲活着後使用する ・異常高温時の使用 はさける
	BM-3015粒	土壌処理	移植後4～ 10日 (ノビエ1.5 葉まで)	300～400	同上	寒地を除く全域	深水はさける
苗代― ―本苗代―	HE-314乳	茎葉兼土 壌処理	播種後～ノビエ 1～2葉期	40～50	壤土～埴土	寒地を除く全域	漏水の大きいところはさける
―保 ―温 ―折 ―衷―	モリノート粒	土壌処理	播種覆土後	300	沖積埴土～ 埴土	寒冷地・温暖地	イネ科雑草対象
―畑 ―苗 ―代―	B-3015乳	土壌処理	播種覆土後	60～80	砂壤土～埴土	寒地を除く全域	適湿を保持する
乾田直播栽培	SAP・ プロメトリン乳	土壌処理	播種直後～ 水稲出芽前	60～80	壤土～埴土	温暖地・暖地	・覆土深2～3cmとし、 深淺にすぎないこと ・イネ科雑草の多発 地では80g使用する
	H-337水和	土壌処理	同上	75～100	同上	全 域	・降雨の多いときは さける
	MO-500乳	土壌処理	播種直後	260～300	砂壤土～埴土	温暖地	広葉およびなでしこ 科雑草の多い地帯は さける